

来場等に関する注意事項

*** 団体等の待機場所は有りませんので、ご注意ください。**

瑞穂公園内全ての場所で、待機場所の設営は禁止します。

競技場正面軒下等のスペース・野球場の軒下・瑞穂公園内・レクリエーション広場の軒下・地下駐車場等にシート等を利用して待機場所として使用しないでください。

選手の来場は競技開始時間の概ね2時間前とし、競技終了後は速やかに帰宅してください。

リレーに出場する選手のみ、競技場内に残ることを許可します。

メインスタンドは、リレー種目に出場する選手・マネージャー・事前に入場許可を得た引率者のみ入れます。

1) 来場にあたっては、3つの密（密閉、密集、密接）を避け、参加競技者及び引率者（監督・コーチまたは引率顧問、保護者引率の場合は保護者）のみで来場してください。

2) 競技者及び引率者は競技会開催1週間前から検温を実施し、個人または団体ごとに指定の報告書（チェックリスト）に記載し、招集時に提出してください。書式については大会エントリーファイルに添付の様式を使用してください。

チェックリストを提出しない競技者及び引率者については、原則として競技場への入場及び参加を認めない場合があります。

3) マネージャーは、各団体2名まで入場を認めます。団体受付で申請してください。

4) 選手は、南ゲートで体調管理表を見せ、検印を受けてください。

受付（引率者・審判）は、正面玄関前で実施します。雨天時は研修棟1Fスタジオで実施します。

その後の入場は南側ゲートのみとします。

入場の際には必ず体調管理シート・入場許可証・役員章等を提示してください。

体調管理シート・入場許可証のない方は入場でません。

①団体受付・競技役員・補助員・マネージャーの受付は正面玄関前で実施します。

②出場者は南側ゲートからのみの入出場とします。マネージャーは、補助員と同じ場所で受付をした後に、南側ゲートから入退場してください。

③役員・補助員の出入り口も南側ゲートを利用してください。

※体調管理シートは、1日毎に1枚必要になります。

競技注意事項

1 本大会は2021年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会要項によって実施します。

*本競技会の結果は、記録速報のほかリザルトが公表されます。結果には、順位・記録のほか選手の氏名・所属・学年を含みます。

※WA規則第143条（TR5：シューズ）のルール改定が2020年12月1日から実施となりました。**800m以上のトラック種目では、靴底の厚さが25mm以上のシューズは使用不可です。**詳しくは、10競技用靴についてを参照してください。
フィールド種目（三段跳を除く）の靴底の厚さは20mmとなります。

2 アスリートビブス（ビブス）について

- (1) 本年度の登録番号をユニフォームの胸、背に確実につけてください。
跳躍種目は、背または胸につけるだけでも構いません。
- (2) トラック競技のうち800m以上の種目に出場する競技者には、写真判定用の腰ナンバー標識を配付します。ランニングパンツの右横や後方に、そのままの大きさと明確に数字が読めるようにつけてください。
- (3) 腰ナンバー標識はフィニッシュ後、直ちに係（フィニッシュ前方スタンド側）に返却ください。

3 ウォーミングアップ場について

- (1) ウォーミングアップ場は、原則としてレクリエーション広場とし、最終種目の招集開始時刻まで使用できます。
- (2) 直線競技実施中はバックストレートも使用して構いませんが、競技役員の指示に従ってください。
 - ・10日は15時30分まで競技場内のバックストレート部分もウォーミングアップを実施しても構いません。ただし棒高跳の競技中は、7、8レーンの使用は禁止します
 - ・11日は、**400mH決勝進出者に限り** Bclas800sの実施中、第3コーナ～第4コーナまでの5～8レーンを使用しても構いません。その際に、ハードルは、6台目から8台目までを7、8レーンに置いて練習しても構いません。7レーンは女子、8レーンは男子の高さにしてください。
 - ・安全に配慮し、競技役員の指示に従ってください。
 - ・マークを置いてのバトン練習は禁止します。

※地下駐車場・野球場軒下でのウォーミングアップは厳禁です(特に雨天時)。そのような事例を発見した・指摘を受けた場合には、当日以降一定期間の出場停止等の措置を講ずる場合があります。

- (4) 競技開始前の本競技場のトラックは、大会の準備に支障のない範囲で出場競技者に限って、ウォーミングアップのために最初のトラック競技開始時刻 **15分前**まで使用しても構いません。
それ以降、競技開始までハードル種目出場者のみ練習を許可します。
競技開始後は、ハードルを使つての練習はできません。

競技開始前の練習での各ハードルの置き方は以下の通りとします
(これ以外は設置しないでください)。

10日は、3レーン中学女子100mH、4レーン女子100mYH、5レーン女子100mH、6レーン中学男子110mH、7レーン共通男子110mJH、8レーン男子110mHのみとします。

11日の400mHは、5～6レーンを女子用、7～8レーンを男子用の高さとします。

フィールド種目は、競技開始前に各ピットで競技役員の指示に従って練習を実施してください。

- (6) 競技開始前に競技場での練習は、持込の牽引用チューブやミニハードル等の使用は禁止します。また、使用した競技用の器具(スターティングブロック、ハードル等)は練習終了後、元の位置に戻してください。

4 招集について

- (1) 招集所は大倉庫前第一招集所に設けます。
(2) 招集の受付は本人が行ってください。時間に遅れたものは棄権とみなして出場を認めません。
(3) 招集開始時刻及び招集完了時刻は、当該競技開始時刻を基準として、次のとおりとします。

	種 目	招集開始	招集完了
トラック競技	すべての種目	30分前	20分前
フィールド競技	すべての種目	50分前	40分前

- (4) 他の種目に出場しているなど特別の事由がある場合、代理人による招集を認めますので競技者係主任(招集所)に事前に申し出てください。

5 競技場からの退場について

- (1) 退場は、下記のとおりとします。
名古屋地区主催の大会では、南側ゲートのみとします。

6 レーン順・試技順について

- (1) トラック競技のレーン順およびフィールド競技の試技順は、プログラムの数字で示します。
(2) 欠場者のレーンは100m～400mではあけます。800mについては競技役員の指示に従ってください。ただし、欠場の状況によって組の移動を行う場合があります。

7 競技について

- (1) トラック競技

この大会から、リレー種目の一次コールを行います。事前の番組編成は行わず、レース当日招集所で出場の意思確認を行い、その裏番組編背を行います。

レース日の12時までに、招集所でチェック用の用紙に出場の場合は○、欠場の場合には×を付けてください。それに基づいて番組編成を行い13時に指定の場所に番組を掲示します。

オーダー用紙の提出時間は、タイムテーブル通りとします。

100mと800mではAclassは予選⇒タイムレース決勝、男子110mH(1.067m)・女子100mH(0.840m)、男女の400mHは予選⇒決勝とします。

Bclass、中学規格・ユース規格のハードル種目及び長距離種目・リレー種目はタイムレースとします。

この大会は、不正スタート1回失格を適用する競技会として実施します。

- ①スターターの合図は英語とします。(「On your marks」、「Set」)
- ②すべて写真判定装置を使用します。
- ③短距離競走では、競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も割り当てられたレーン(曲走路)を走ってください。
- ④番組編成は申込記録上位から1組、下位を2組以降とすることを原則とします。
- ⑤男子5000mはスタート後20分、中学男子・女子3000mはスタート後15分でレースを打ち切ります。

- ⑥同タイムの着差は、1,000分の1秒差まで考慮します。
- ⑦レース中に競技者が自らの意志でトラックを離れた場合は、そのレースを継続することができません(DNFとなります)。
- ⑧リレーのオーダー用紙提出は、すべての組が最初の招集グループの招集完了時間1時間前とします。
- ⑨100m・100mハードル系のレース前のスタート練習については、スターターと出発係の指示に従ってください。

(2) フィールド競技

走幅跳は **A classのみトップ8** を実施します。

その他の長さを競う種目はすべてトップ8を実施します。

- ①フィールド競技における競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従ってください。
- ②投てき競技の計測は、光波測定器を使用します。
- ③フィールド競技で、助走路に使用できるマーカーは主催者が用意したマーカーを2個まで置くことができます。また、サークルから行う投てき競技は、マーカーを1個だけ使用できません。
- ④三段跳の踏切板は、男子11m・女子8mで行います。

- (3) 競技者は、勝手に競技場所を離れることや競技規則第144条2bで禁止されたビデオ装置・ラジオ・CD・MD・トランシーバーや携帯電話・通信機能の付いた腕時計もしくは類似の機器を競技場内で所持または使用することはできません。
- (4) 不当な行為をした競技者には警告が与えられ、場合によっては当該競技から除外されます。警告は黄黒色(斜め半分形)のカード、除外は赤黒色(斜め半分形)のカードを示すことによって競技者に知らされます。

8 走高跳・棒高跳のバーの上げ方

(ただし、天候等の状況により変更する場合があります。)

	練習A	練習B	1	2	3	4	5	6	
男子走高跳	1m60	1m85	1m65	1m70	1m75	1m80	1m85	1m90	以後3cm
	1m40	1m65	1m45	1m50	1m55	1m60	1m65	1m70	1m85までは5cm、以後3cm
男子棒高跳	3m00	4m00	3m00	3m20	3m40	3m60	3m80	4m00	以後10cm
女子走高跳	1m40	1m60	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	1m65	以後3cm
	1m25	1m45	1m30	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	1m65までは5cm、以後3cm
女子棒高跳	2m20		2m40	2m50	2m60	2m70	2m80	2m90	以後10cm

※練習はいずれかの希望する高さで行うことができます。

※第1位決定の場合のバーの上げ下げは、走高跳は2cm、棒高跳では5cmとします。

※走高跳は、申込記録によってA・Bピットに分けて競技を実施しますが、両ピットをまとめて順位付けします。

9 競技用器具について

競技に使用する器具は主催者が用意したものを使用しなければなりません。ただし、やりについては、競技場に無いもの、もしくは1つしかない物の場合は持ち込みを認めますので、希望者は各競技の招集開始時刻の1時間前から招集開始時刻までの間に南側器具庫(フィニッシュライン付近)でやりの検査を受けてください。検査に合格したやりは、預かり証を発行の上、一括借り上げし、参加競技者間で共有できるものとします。

10 競技用靴について(競技規則第143条2・3・4・5・6参照)

スパイクの長さは9mm以内とします。ただし、走高跳・やり投は12mm以内とします。スパイクは先端近くで、少なくとも長さの半分は4mm四方の定規に適合するように作られていなければなりません。

せん。なお、スパイクの数は11本以内です。

さらに、シューズ（スパイク、ランニングシューズ含む）の厚さが種目ごとに定義されました。今大会は、以下の規定で実施します。規定に合致しない靴は使用出来ませんのでご注意ください。使用した場合は失格となります。

フィールド種目は、三段跳を除き20mmです。

走高跳 靴底（ソール）全体20mm（かかと含む）

走幅跳が20mmに変更（ただし前部が踵部より厚くならない）。

三段跳は25mmです。

トラック種目（1月の改定ではスパイク限定で上限30mmだったのが、シューズという括りとなり）

800m未満の種目は20mmに変更、800m以上の種目は25mmに変更。

ただしトラックで実施される競歩だけはロードのルールを適用（40mmの厚底シューズはトラックでも使用可能になる）します。

ロードは40mm、クロスカントリー25mm、マウンテンランニング・トレイルランニングは制限なしです。

詳細は注意事項最後の資料を確認してください。

11 瑞穂北陸上競技場の使用について

(1) 今回の開門時刻は、午前8時00分とします。それ以前には立ち入らないでください。

場所取りは行わないでください。

(2) 清掃・ゴミ処理は、各学校、各自で責任を持って行き、環境美化に努めてください。

ゴミ問題は深刻な状況です。各自「ゴミの持ち帰り」をお願いします。現在、競技会終了後の「清掃・ゴミ処理」は、一部の学校の部員の奉仕活動により行われていますが、その労力は多大なものとなっています。他人に迷惑をかけないよう互いに気を配り、自宅への持ち帰りにご協力ください。

12 一般的注意事項

(1) 本大会はコンピュータを活用して競技会運営を行いますので、氏名・所属等の間違いがあれば本部に申し出てください。

(2) 更衣室は更衣のみに使用し、荷物は置かないようにしてください。更衣後の荷物は各自で管理してください。

(2) 貴重品類は、各自で保管してください。万一の事故があっても、責任は負いません。盗難には十分に注意してください。

(4) 応急処置を必要とする事故が生じたときは、**医務室において処置が受られます。**なお、応急処置後の治療は、**本人負担**とします。

愛知陸協強化委員会医事部会が、競技者のコンディショニングと応急処置に当たっています。けがの治療だけでなく相談業務も受け付けていますので、積極的に医務室をご利用ください。なお、テーピング用のテープは利用者が持参してください。

◆選手の人権保護の観点から、写真・ビデオ撮影は基本的に禁止します◆

※保護者および本人の了解がない撮影を禁止します。